

# ながるるとき自彊もて

日増しに春めいてまいりました。いよいよ今週末は卒業式です。保護者の皆様には今年度も当校の教育活動にご協力いただき誠にありがとうございました。さて知育・徳育・体育の学校評価の結果が出ましたのでお知らせいたします。

## 確かな学力の向上 ～知育～

**目標1** 全校テスト(3年生以上はWeb配信診断問題)において期待得点(1・2年生は90点、3年生以上は県平均)を上回る児童を全校で65%以上にする(なかよし学級除く)。

- 評価基準1**
- A 65%以上(64人)
  - B** 40~64%(39~63人)
  - C 40%未満(38人)



4年朝学習G.Tの様子

今年度は、全校テスト前の朝学習に行っていた複数の教員で指導する「朝学習G.T.(ゴールデンタイム)」を毎週水曜日にも位置付け、各学年2人体制で指導を行いました。基礎基本の定着に向上が見られました。

**目標2** 毎月の学習アンケートで「授業で学級の友達との間で話し合う活動を通してよく分かった」と答える児童が全体の80%以上にする(なかよし学級除く)。

- 評価基準2**
- A** 80%以上(79人以上)
  - B 60~79%(59~78人)
  - C 60%未満(58人以下)

月末、子どもたちに「学習アンケート」を実施し、子どもたちの学習状況に関する意識を調べてました。その結果を元に授業改善を行ってきました。

**目標3** 家庭学習で学年相当の自主学習ができている児童を70%以上にする(なかよし学級除く)。

- 評価基準1**
- A 70%以上(69人以上)
  - B** 50%以上(49人~68人)
  - C 50%未満(48人以下)

今年度は、自主学習の質に焦点を当てて取り組みました。そのため、自主学習メニューをA「反復練習的な内容」、B「学習のまとめ直しや考えて創り上げる内容」とし、特にBメニューに取り組むよう働きかけました。また手本となる自主学習ノートは学年ごとに1階ホールに掲示しました。

## 豊かな心を育む ～徳育～

**目標1** 「いじめ見逃しゼロ強調期間」の取組を行う前後の児童アンケートで「どんな理由があってもいじめはよくないことだ」と答えた児童が全ての学年で数値が上がる、または100%にする。

- 評価基準1**
- A 全学年で数値が上がる。
  - B** 4～5つの学年で数値が上がる。
  - C 数値が上がったのが3学年以上。

今年度は6月と11月の2回強調期間を設けました。期間中に「ふわふわ言葉」や「ちくちく言葉」、「いじめ見逃しゼロを目指しての標語」をクラスで話し合って決めました。人権教室やいじめについて考える授業も行いました。また、わんぱく班で遊ぶ活動も行いました。遊びの最後には「良いところ探し」をして、お互いの良さを認め合いました。これらの取組のおかげで、今年度は金屋小でのいじめの認知件数はありませんでした。



「いじめ見逃しゼロミニ集会」



わんぱく班での「良いところ探し」

**目標2** 保護者アンケートで「学校は道徳に力を入れている」の肯定的評価を80%以上にする。

- 評価基準2**
- A** 90%以上（96人以上）
  - B 80%以上～90%未満（85人～95人）
  - C 80%未満（84人以下）

道徳の授業参観後に、「心の懇談会」を行いました。下学年が「金屋っ子の心は？」、上学年が「いじめについて考えよう」をテーマにの2つのグループに分かれ、保護者の方と教職員が話し合い、意見交流を行いました。



全学年道徳授業公開（5年生の様子）



「心の懇談会」の様子

## 健康でたくましい心身を育む ～体育～

**目標1** 基礎基本となる7種目（※）の全ての種目で目標値を達成する。

**評価基準1** A 7種目 **B** 5種目以上 C 4種目以下

※基礎・基本となる7種目と目標値

- ① クロールか平泳ぎか背泳ぎかバタフライのうちの1つで25メートル以上泳げる児童を85%以上（4年生以上） → **結果は80.7%（46人）△**
- ② 逆上がりができる児童を60%以上 → **結果は60.6%（60人）○**
- ③ 後転ができる児童を80%以上 → **結果は81.8%（81人）○**
- ④ 二重跳びができる児童を55%以上（3年生以上）  
→ **結果は62%（44人）○**
- ⑤ 開脚跳びで自分の身長のお半分くらいまで跳び箱が跳べる児童を90%以上  
→ **結果は85.9%（85人）△**
- ⑥ 登り棒で自分の身長くらいまでの高さが上れる児童を80%以上  
→ **結果は83.8%（83人）○**
- ⑦ 雲梯で半分まで行ける児童を70%以上  
→ **結果は77.8%（77人）○**

3学期に「後転・逆上がり強調週間」を設け、苦手な子たちが練習を行いました。その結果、目標値を越えることができました。

年間を通して7種目の達成者の名前を随時、体育館に掲示することで子どもたちは種目達成に向けて意欲的に取り組んでいました。

年度末に「金屋っ子スーパーアスリート」と前年度より達成種目が増えた子の「努力賞」を表彰します。



逆上がり強調週間の様子

**目標2** 家庭でメディアと触れ合う時間（上限は平日2時間、休日5時間）を自分で決め、その時間を守ることができた児童を80%以上にする。

（なかよし学級除く）

**評価基準2** A 80%以上（79人以上）

B 75%以上～80%未満（74～78人）

C 75%未満（73人以下）

学習・生活Wアップカードやセルフモニタリングシートを使って、子どもたちに家庭での時間の使い方やメディアの時間を考えさせました。その結果、家庭での時間の使い方を考えて生活する子が増えました。保護者の方の感想を見ても家庭で協力する姿も見られます。ありがとうございました。

来年度は、時間や内容にさらに検討を加え、継続して取り組んでいきます。

2020年新学習指導要領で

# 学校が大きく変わります

あと10年～20年で49%の職業が機械に取って代わられる！

2011年にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は今では存在していない職業に就く！

約三分の一の企業が外国人留学生を採用！



これはアメリカの大学教授などが予想した社会です。このような変化の激しい時代を生きる子どもたちに「**社会で活躍できる資質・能力を育成する**」ために学校教育が大きく変わります。それが2020年なのです。

新学習指導要領は、未来を生きる子どもたちに「どのような力（資質・能力）を身に付けるのか」「何ができるようになるのか」まで踏み込んで求める教育になります。

これまでは…  
学んだことをきちんと理解しているか（知識・技能）の評価が大きなウェイトを留めていました。

しかし、これからは…

**知識や技能を習得するだけでなく、それをもとに「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立つ」ことが求められます。**

## 育成を目指す資質・能力の3つの柱

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
-------	-------------	-------------



### ◎ 児童が主体的・能動的に参加する授業・学習へ

- 問題解決学習 ○体験学習 ○調査学習
- ペア・グループトーク ○グループディスカッションなど

### ◎ 教科・科目の構成や目標・内容が新しくなる

- 「道徳」の教科化
- 小学校3・4年生での「外国語活動」5・6年生での「英語」教科化



金屋小学校でも授業の中でお互いの考えを伝え合う活動（ペア、グループなど）を重視して取り組んでいます。また来年度は、中・高学年で外国語活動が15時間増えるなど2020年に向けての取組を始めています。

※学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準のこと